

令和7年度第2回 滋賀県地域職業能力開発促進協議会 議事概要

■ 日時：令和8年3月12日（水）13:30～15:30

■ 場所：滋賀労働総合庁舎 6階会議室

■ 概要：公的職業訓練（ハロートレーニング）の実施状況検証および令和8年度実施計画（案）について協議を行った。

【議題1】令和6・7年度 ハロートレーニング実施状況

- ・ 製造分野は応募倍率が低い一方、就職率は高い傾向。
- ・ デザイン・WEB系は応募倍率が高いが、就職率が低い傾向が全国的に見られる。
- ・ 委託訓練および求職者支援訓練で就職率が目標未達の分野があり、就職支援強化が課題。

【議題2】中央職業能力開発促進協議会（第2回）概要

- ・ 全国的にデジタル分野、介護・福祉分野を重点に訓練効果検証を実施。
- ・ 訓練成果の可視化、広報強化の必要性が指摘された。

【議題3】令和8年度 滋賀県職業訓練実施計画（案）

- ・ 介護・医療・福祉分野および製造分野を重点分野とする。
- ・ 訓練科再編・新設（NC加工、3次元CAD等）により企業ニーズに対応。
- ・ 生成AI、情報セキュリティ等のデジタルリテラシー内容を計画に追加。

【議題4】訓練効果検証ワーキンググループ

- ・ 令和8年度の検証対象分野は「介護・医療・福祉分野」とすることで了承。
- ・ 定員充足率改善および訓練内容見直しを目的とする。

【主な質疑・意見】

- ・ （箕浦委員）
応募倍率と就職率の乖離について、企業ニーズと訓練内容の整合性を踏まえた目標設定の必要性を指摘。
- ・ （岡田委員）
介護・福祉分野の人材不足は処遇面の課題も大きく、効果検証における考え方について意見。
- ・ （松山会長）
生成AI活用に関する訓練の位置づけや今後の対応方針について、本省での検討を求める意見。

- ・（川西委員）
就職氷河期世代や高齢者など、世代別支援の位置づけについて説明を求める意見。
- ・（相澤委員）
介護分野において、短時間勤務や副業的就労も視野に入れた人材確保の必要性を指摘。
- ・（伊吹委員）
技能五輪全国大会における介護分野正式種目化を踏まえ、意欲向上につながる周知・広報の提案。

■ 結果：全議題について了承。令和8年度実施計画（案）の軽微な修正は会長一任とされた。